

はばたきプラン

平成22年度から **全面実施** になります。

全面実施って？

- 各教科の学習は、すべての学年において現行の学習指導要領に基づいて実施します。
- 小学校1、2年生は、学習内容や時間数の変更はありません。
- ただし、小学校3年生から、教育課程特例校指定により、小中学校の「総合的な学習の時間」と中学校の「選択教科」の時間を学校や地域の特色を生かした八潮市独自の教育課程「ふるさと科」、「えらべる科」、「英語活動」と「特別活動」の時間増に充て、全小中学校で学びます。
- 市内小中学校を5ブロックにわけ、小中一貫教育の研究を継続して進めていきます。



教職員の取組



平成18年度から、市内の教職員を構成員とした小中一貫教育推進準備委員会（H21年度より推進委員会に名称変更）を組織し、小中一貫教育について研究を進めてきました。準備委員会内に設置された検討部会では、それぞれの教職員の専門性を生かし、小中学校の特性や良さを理解し合いながら、小中一貫教育における課題や9年間を見通した一貫性のある学習指導や生徒指導等について話し合いを重ねてきました。

また、中学校ブロックごとに教職員が集まり、小中合同研修会の実施や、中学校の教員が小学校で出前授業を行うなど、様々な場面で小中学校教職員による新たな連携が始まっています。

八潮市小中一貫教育推進準備委員会 検討部会

H18

教育課程部会

教育特区による新たな教科などの指導等について協議

交流活動部会

授業や授業時間以外での小中学生の交流活動について協議

学校生活部会

生活のきまり等、学校生活全般に関することについて協議

H19

英語活動部会

コミュニケーション能力を高めることを目的とした、「英語活動」の指導計画例や教材例の検討・作成

えらべる科部会

学びの連続性や基礎基本の習得を目的とした、「えらべる科」の指導計画例や教材例の検討・作成

ふるさと科部会

福祉や環境、文化などを、ふるさと八潮の人に学ぶ、「ふるさと科」の指導計画例や教材例の検討・作成

H20

教育課程連携部会

・9年間を見通した、学習指導計画表の作成
・連携校の連絡調整

学力向上連携部会

・八潮 Basic（国語、算数・数学の基礎学力問題集／3年生～9年生版）の作成

学校生活連携部会

・生活・学習ガイドの作成
・生活指導強化期間の設定

八潮市小中一貫教育推進委員会 検討部会

H21

平成21年度は、平成20年度の内容を継続して研究しました。

けいかく部会

- ・教育課程の検討、編成
- ・評価、評定について
- ・連携校の連絡調整

まなび部会

- ・八潮 Basic の活用、修正
- ・八潮検定の検討

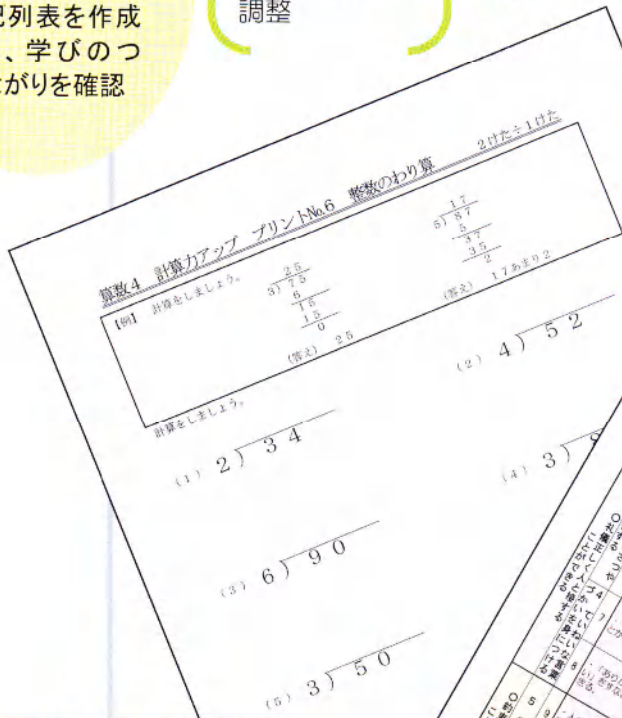
こころ部会

- ・生活・学習ガイドの修正
- ・教師用ガイドの作成
- ・共通指導期間の実施

しえん部会

- ・小中一貫教育における特別に支援が必要な子どもの連携のあり方について検討

算数・数学を例に小中単元配列表を作成し、学びのつながりを確認



小中で活用できる市内統一の「しえんファイル(試案)」を作成



八潮 Basic は、八潮市が独自に作成した国語と算数・数学の基礎学力問題集です。3、4年生版、5、6、7年生版、8、9年生版を作成し、えらべる科などで活用します。平成22年度は3年生以上の全児童生徒に配布します。

生活・学習ガイドは、1年生から9年生までの発達段階に応じ、一貫性のある生活・学習態度を身につけるための目標として作成しました。平成22年度は全児童生徒に配布し、活用していきます。

H22の推進計画

けいかく部会

- ・小中一貫教育 Q&A の作成
- ・連携校の連絡調整
- ・通知表の検討

まなび部会

- ・八潮検定の在り方を検討
- ・英語活動、えらべる科の年間指導計画
- ・家庭学習の在り方を検討

こころ部会

- ・生活・学習ガイドの検証
- ・豊かな心の育成の具現化

しえん部会

- ・小中一貫教育における特別に支援が必要な子どもの連携のあり方について検討

■これまでの主な取組

平成17年度

- ・19年度から研究委嘱校を指定し、小中一貫教育の推進を決定

平成18年度

- ・内閣府より、構造改革特別区域計画(八潮市小中一貫教育特区)を認定
- ・八潮市小中一貫教育推進準備委員会を設置、開催

平成19年度

- ・小中一貫教育が導入され、教育特区による教育課程を段階的に導入
- ・2つの中学校区(市内5校)を研究委嘱校として指定し、交流活動や英語活動・えらべる科・ふるさと科の一部実施など、様々な取り組みを実施
- ・学校教育審議会を設置し、「八潮市小中一貫教育の在り方について」諮問

平成20年度

- ・文部科学省より、(※)教育課程特例校の承認(小中一貫教育特区からの変更)
- ・市内全小中学校(小学校10校、中学校5校)を小中一貫教育研究指定校とし、5つの中学校区ブロックに分け研究を行う



小中合同あいさつ運動

平成21年度

- ・学校教育審議会から「八潮市小中一貫教育の在り方について」答申
- ・市内で初めての小中合同運動会・体育祭を実施(八條北小学校・八條中学校)
- ・研究委嘱3年目の委嘱校の研究発表を開催



八潮中ブロック(潮止小、松之木小、八潮中)の研究発表



八條中ブロック(八條小、八條北小、八條中)の研究発表



リレーで、小学生ランナーを応援する中学生



岩谷教育委員長へ答申を渡す、学校教育審議会平沢会長(文教大学教授)

このほかにも、市内の小中学校で様々な取組が行われています。

■平成22年度の予定

- ・中学校入学説明会及び第1回八潮市ジョイント教室
- ・第2回八潮市ジョイント教室
- ・八潮市教職員合同研修会
- ・教職員ジョイント研修(異校種体験研修)
- ・小中一貫教育懇談会
- ・市内全小中学校小中一貫教育研究指定
- ・潮止中ブロック(中川小・潮止中)小中一貫教育研究発表会

■平成22年度の教科

単位：時間

	各教科等	英語活動	えらべる科	ふるさと科	特別活動			
初等教育 1年	現行の学習指導要領に基づいて実施	/	/	/	34			
" 2年					35			
" 3年					17	48	25	40
" 4年					17	53	25	40
中等教育①5年					35	40	25	45
" 6年					35	40	25	45
" 7年					/	25	25	40
中等教育②8年					/	60	20	40
" 9年					/	120	15	40

(※)教育課程特例校とは?

学校または地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施することができる学校です。八潮市では、平成18年11月16日に「八潮市小中一貫教育特区」が認定され、平成21年2月23日に『教育課程特例校』が承認されました。

問い合わせ

埼玉県八潮市中央一丁目2番地5 電話048-996-2111(内線359)
八潮市教育委員会 学校教育部 小中一貫教育推進室